

令和 8 年度大学院入試二次試験（有機化学①）出題意図

1. カルボニル化合物の反応に関する問題

- ・ オキシムの構造について説明できる。
- ・ 酸塩基反応と求核剤の反応性について説明できる。
- ・ ケトンとヒドロキシルアミンからオキシムが生成する反応機構を電子の動きで説明できる。

2. 塩基性と置換基効果に関する問題

- ・ 塩基性に与える置換基の効果について説明できる。
- ・ 混成軌道や共鳴効果が塩基性に与える影響について説明できる。

3. 生体内化合物の有機化学に関する問題

- ・ 代表的な生体内化合物(グルタチオン)の構造について理解している。
- ・ ペプチドを構成するアミノ酸の構造と名称について説明できる。

4. 有機化学でよく取り扱う基本的な反応

- ・ 基本的な反応（還元反応、Wittig 反応、Michael 付加、Claisen 転位、エノラートイオンの反応等）について、反応条件から生成物の構造式を予測することができる。